

自然的環境の分布（緑の現況）経年変化調査の結果概要

「川崎市緑の基本計画」では、樹木の集団（300 m²以上のまとまりのある樹林地）、農地、河川等、運河の4つの自然的環境資源について航空写真等により把握し、自然的環境の分布を緑の現況として示しています。

平成18年に行った前回の調査から5年経過した平成23年1月1日の状況について再調査し、自然的環境の分布の更新を行いました。

【調査結果】

一部では、樹木の成長等により樹木の集団の面積が増加している箇所もあり、河川の平瀬川においては、河川改修に伴い0.05haの増加が見られました。しかし、宅地や空き地等への土地利用の転換により全体で樹木の集団が約40ha、農地が約67ha減少しました。

自然的環境の経年変化量

自然的環境資源	2006(平成18)年		2011(平成23)年	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)
樹木の集団	約 1,072	7.4	約 1,032	7.2
農地	約 696	5.0	約 629	4.4
河川等	約 755	5.2	約 755	5.2
運河	約 1,222	8.5	約 1,222	8.5

※市域面積：14,435ha、農地面積は固定資産税概要調書による

